

様式第1号

会 議 録

会 議 の 名 称	令和2年度第1回所沢市産業振興ビジョン推進会議
開 催 日 時	令和2年8月4日(火) 10:00~12:00
開 催 場 所	所沢市役所高層棟8階 大会議室
出 席 者 の 氏 名	ハル香織 三上誠 新井重雄 梶由紀子 河藤佳彦 朝倉はるみ 新井祥穂 竹村勝(代理出席:吉田誠) 橋本徹
欠 席 者 の 氏 名	深谷正徳 大木敬治
説 明 者 の 職 ・ 氏 名	
議 題	(1) 令和元年度事業実績の報告について (2) 新型コロナウイルス感染症に関する支援策について (3) 意見交換等 (4) その他
会 議 資 料	(資料1-0 所沢市産業振興ビジョン) 資料1-1 所沢市産業振興ビジョン推進会議条例 資料1-2 所沢市産業振興ビジョン推進会議 委員名簿 資料1-3 令和元年度所沢市産業振興ビジョン推進会議報告書 資料1-4 新型コロナウイルス感染症に関する支援策
担 当 部 課 名	産業経済部 部長 植村里美 産業経済部 次長 鈴木明彦 産業経済部 産業振興課 課長 森田茂明 主査 高橋利成 主査 柴崎大助 主任 菅井悠登 産業経済部 商業観光課 課長 柳田晃芳 主幹 築地将司 産業経済部 農業振興課 参事 青木一圭 主査 野島博行 主査 長谷川力 産業経済部 産業振興課 電話 04-2998-9157

様式第2号

発言者	審議の内容（審議経過・決定事項等）
産業振興課長	開会
産業経済部長	あいさつ
産業振興課長	委嘱状の交付（机上配付）
各委員	自己紹介
産業経済部長 （仮議長）	会長・副会長の選出 ・会長：河藤佳彦 ・副会長：三上誠
会長・副会長	あいさつ
産業振興課長	会議の運営について、下記3点を説明。 ①会議の公開・非公開 ②会議録の記載方法と発言者の表記の方法 ③会議録の確定方法
会長	特に意見・質問がないため、事務局の説明どおり会議運営を行うということによろしいか。
委員一同	～了承～ 【決定事項】 ①会議については、原則「公開」とし、非公開情報について審議を行う場合は事務局より各委員に諮る。 ②会議録の作成は要約方式とし、発言者の名前は伏せて「委員」と表記する。 ③会議録は、会長の承認をもって確定する。
事務局	『会議の主旨説明』として、産業振興ビジョンに基づき説明。

	<p>議事（１）令和元年度事業実績の報告について</p>
会長	<p>本日の議事（１）令和元年度事業実績の報告として、先導プロジェクト毎に、事務局より説明願いたい。</p>
事務局	<p>資料 1-3 に基づき、報告書の全体構成、及び先導プロジェクト A について説明。</p>
会長	<p>先導プロジェクト A について質疑、意見があれば願いたい。</p>
会長	<p>特に意見が無いようなので先に進めるが、他に質疑があれば、後ほど全体を通しての時間を作るのでそのときに願いたい。 事務局は、引き続き、先導プロジェクト B について説明願いたい。</p>
事務局	<p>先導プロジェクト B について補足説明なし。</p>
会長	<p>先導プロジェクト B について質疑、意見があれば願いたい。</p>
会長	<p>質疑等がないので、引き続き、先導プロジェクト C について説明願いたい。</p>
事務局	<p>資料 1-3 に基づき、先導プロジェクト C について説明。</p>
会長	<p>先導プロジェクト C について質疑、意見があれば願いたい。</p>
会長	<p>質疑等がないので、先導プロジェクト D について説明願いたい。</p>
事務局	<p>資料 1-3 に基づき、先導プロジェクト D について説明。</p>
会長	<p>先導プロジェクト D について質疑、意見があれば願いたい。</p>
会長	<p>特に意見等がないので先に進めるが、本日は、初めての委員もいることから、どういう事業を重点的に取り組んでいるかイメージを掴むことが重要であると考えている。また、ビジョンの特徴の一つが、農業、商業、工業といった縦割でなく、分野横断的になっている点である。委員の皆様からは柔軟な視点で意見をいただきたい。</p>

<p>会長</p>	<p>議事（２）新型コロナウイルス感染症に関する支援策について</p> <p>では、議事（２）新型コロナウイルス感染症に関する支援策について、事務局より説明をいただきたい。</p>
<p>事務局</p>	<p>資料 1-4 に基づき、産業振興課の取り組みについて説明。 （小規模事業者等臨時給付金、雇用調整助成金等個別相談会、伝統産業支援金）</p>
<p>産業経済部長</p>	<p>支援策は、所沢商工会議所等支援機関と協議し、事業者が必要とする施策について検討し、実施している旨を説明。</p>
<p>事務局</p>	<p>資料 1-4 に基づき、商業観光課の取り組みについて説明。 （テイクアウト等事業転換補助金、商店街等への給付金、商店街電気料補助（拡充）、プレミアム付商品券、販路拡充事業補助金、職員向けテイクアウト販売会等）</p>
<p>事務局</p>	<p>資料 1-4 に基づき、農業振興課の取り組みについて説明。 （『ところざわの農力（地産地消等推進チラシ）』作成・配布、ダイレクトメールによる国等支援策の情報発信等）</p>
<p>会長</p>	<p>質疑等あればお願いしたい。</p>
<p>委員</p>	<p>新型コロナウイルス関連の支援策として、良い取り組みを幅広く実施しており、驚いている。もっと市民に周知したら良いと思うが、どのように周知しているか。</p>
<p>事務局</p>	<p>市ホームページや広報ところざわ、事業者向けメールマガジン、所沢商工会議所のメールマガジン等で周知している。</p>
<p>会長</p>	<p>議事（３）意見交換等</p> <p>これまでの内容を踏まえ、質疑、提案等ご意見をいただきたい。</p>
<p>委員</p>	<p>『所沢愛』の醸成に関する提案を二点したい。一点目は、市内小</p>

委員	<p>中学生が市内企業を知る機会を増やすことを目的とした、市内企業を映像等でPRするホームページの作成である。二点目は、北海道で携わったことがある『ものづくりテクノフェア』の所沢版（工業の他、農業や商業も一体となって実施する）の開催である。</p> <p>また、所沢市には国立障害者リハビリテーションセンターがあるのが一つの特徴であるが、最近、障害者が多く働くスターバックスコーヒーが国立市に出来たように、市内の特徴的な施設に結びついた店舗等の誘致の検討や、市民が近場で利用できる駅ナカマルシェの開催等も検討してはどうか。</p> <p>支援策の周知と同様に、所沢市には、産業、都心へのアクセス、開発投資、自然等自慢できる要素が数多くあるので、市民や地域にその魅力を伝える広報が課題と考える。</p>
委員	<p>『ものづくりテクノフェア』の提案があったが、工業のみではあるが、商工会議所としては西部地域5市のミニ商談会を実施したりしている。</p> <p>また、先導プロジェクトB重点事業2『（仮称）地域の中核となる事業者等応援事業』について、市と共に事業者訪問を実施できたことは一歩前進であり、事業者からも好評であった。継続訪問やミスマッチの場合のフォロー等、今後どのように進めていくか検討していく必要がある。</p>
委員	<p>市として『農福連携』の動きはあるか。</p>
事務局	<p>農福連携の定義が難しいが、農業者と福祉事業者がウィンウィンになることが理想と考える。これまでの取り組みとしては、昨年の認定農業者向け講演会を開催するにあたり、「農福連携」をテーマとし、福祉部にも参加いただいたり、福祉事業者に体験農場を利用いただき「農」に触れるきっかけの場を設けた。将来的には「農と福」のマッチングの場になればと考えている。</p>
委員	<p>埼玉県の新型コロナウイルス関連支援策『埼玉県中小企業・個人事業主等家賃支援金』についての制度説明。</p>
委員	<p>テイクアウト等事業転換補助金制度について、業態転換を促す支</p>

	<p>援策を設けたことはとても参考になった。</p> <p>また、新型コロナウイルス等のもたらす今後の変化に対応するためにも産業振興ビジョンの計画を変更していく必要があると考える。今後は、リモート、デジタル化、キャッシュレス、サテライトオフィス、シェアリングエコノミー、自動化（ロボット）、BCP等がキーワードとなるだろう。こうした変化をビジョンの後半（施策立案）に加えていくのはどうか。</p> <p>例えば、観光関連では、この先数年はインバウンドに期待が持てないのであれば、域内需要に対する取り組みを検討した方が良いでしょうし、未利用スペースの補助金についても、東京に本社を構えている事業者の立地の考え方の変化を踏まえる必要があるだろう。</p> <p>関東経済産業局では、今後変化をもたらす可能性のある事項について整理しているので、計画変更に伴う政策立案に協力したい。</p>
委員	<p>所沢市の現状を把握するために、地域経済動向調査結果を確認した。調査対象数も多く充実しているので、今後は調査結果を先導プロジェクトや重点事業に生かしていただきたい。学識経験者として出来ることの一つとしては、地域経済動向調査と先導プロジェクト・重点事業との対応関係の分析や解釈について、意見を述べることであるので、意見交換していきたい。</p> <p>また、『農福連携』について話が出たが、所沢市は『農老連携』が適していると考えている。実際に、新規就農者を手伝うシニアが多くいたり、シルバー人材センターが農地を扱っているなど、他市にはあまり見られない特徴を持っている。</p> <p>現役時代都心で働いていた社員が退職後農業に興味を持てば、先導プロジェクトC重点事業4『体験農場利用者ステップアップ事業』の参加者数も増えるかもしれない。このように重点事業同士がつながってくる可能性もある。定期的に、所沢市で何が起きているか現状にかえることで見えてくるものもあるだろう。</p>
委員	<p>実施している事業をどうやって市民に届けるかが課題である。『ところざわの農力』は全戸配布しているか。QRコードの載っているチラシが手元があれば簡単に情報を取りに行くことができ、市民の消費の背中を押すことになる。農産物は鮮度が命であり、美味しいものを食べられる満足感等が郷土愛に繋がるので、ぜひ市民に多様なルートで情報を届けていただきたい。</p>

	<p>また、製造事業者等と連携し、里芋等農産物を一次加工した商品にも力を入れていただけると、更なる消費につながると思う。</p> <p>観光に関しては、ところざわサクラタウンが一部プレオープンしたが、当初はインバウンドを誘客する計画であったと思うが、新型コロナウイルスの影響で今後3年程度は厳しいと個人的には予想している。半径1時間以内の商圈で日本人のリピート率を高める方法を検討した方が良い。(株)KADOKAWAが誘客戦略を見直しているかと思うが、所沢市も絡んで、戦略を練り直していただきたい。</p>
委員	<p>所沢商工会議所における新型コロナウイルス感染症に係る相談件数についての説明。</p> <p>また、所沢市の強み・弱みを整理すると、強みは立地（都心から30キロ圏内）と地盤（関東大震災でも被害なし）、自然との共生、農商工の融合、世界的にも産業を牽引している事業者の存在等であり、弱みは、産業政策予算が他市に比べて少ない（私見）、宿泊施設が少ない、道路整備が足りず鉄道で分断されている（経済損失）点等であると考えます。</p> <p>先日ある大企業の社長との話の中で、新型コロナウイルスがきっかけで、営業削減、事業所数削減を進めることができたとのことであった。今後、東京都内からの本社移転や支社新設等企業に動きが出てくる可能性があるため、良い企業を誘致していただきたい。</p>
会長	<p>進め方について、整理したい。この推進会議は、各委員からの意見出しがとても重要である。意見交換の時間を多く取るために、事務局からの説明は要点のみ簡潔にお願いしたい。また、各委員は資料を事前に読み込み、より多くの意見・提案を行っていただきたい。</p> <p>そして、推進会議後、委員意見を事務局が整理し、施策検討等に活用いただきたい。</p>
	<p>議事（4）「その他」</p>
会長	<p>議事（4）「その他」について、事務局からお願いしたい。</p>
産業振興課長	<p>次回の推進会議について、新型コロナウイルス感染症の状況次第ではあるが、現時点では11月中の開催を予定している。</p>

産業振興課長	長時間にわたり、ご意見ありがとうございました。 閉会
--------	-----------------------------------